

生活排水（雑排水・汚水）処理の流れ

下水道への入口

家庭から下水道へ

下水道への入口は、台所や風呂場、トイレなど水を使う場所が主な入口になります。

【台所】



★台所で使用する**てんぷら油などは、排水溝に流さないでください。**

油が排水（下水）管にこびりつき、つまりの原因になります。新聞紙などに染み込ませるか、市販の凝固剤を使って、ごみとして捨てるようにしましょう。

【風呂】



★生ごみや髪の毛などの固形物を排水溝に流すと、つまりの原因になります。市販のごみ受けなどを使って、ごみとして捨てるようにしましょう。

※**油やごみは、つまりの原因になるだけではなく、処理場まで流れ着くと、下水処理の妨げにもなります。**

【トイレ】



★トイレでは、**トイレットペーパーを使用してください。**それ以外のもの（ティッシュペーパーなど）は水にほぐれづらいため、排水（下水）管がつまる原因になります。

汚水ます

台所や風呂場、トイレなどから流れてきた排水は、汚水ますに入ります。汚水ますは、家庭の排水管と下水管をつなぐもので、管内の汚れやつまりを点検したり、掃除をするときに使います。



宅内最終（公共汚水）ます

下水管

汚水ますから流れてきた汚水は、下水管に入ります。下水管は、道路の下に埋まっています。各家庭から流れでてきた汚水がここに集まり、下水の終末処理場に流れていきます。



マンホールふた

下水の処理（浄水管理センター）

浄水管理センターは、下水の終末処理場でもあります。ここでは、終末処理場としての役割のひとつである下水の処理について説明します。

沈砂池



各家庭、店舗や事業所から流れてきた汚水（下水）は、まず、この沈砂池への流入口から入り、処理が始まります。ここで、**大きなごみや砂などを取り除きます。**



最初沈澱池



沈砂池で大きなごみなどを取り除いた汚水は、この最初沈澱池に入ります。この池をゆっくり流れていく間に、重い物質は、池の底に沈んでいきます。軽い浮いている物質（浮遊物質）は、スカムスキマーで取り除かれます。この段階では、まだ汚れた水のままで、きれいになっていないのが写真でもわかります。

エアレーションタンク



最初沈澱池から流れてきた汚水は、この池（エアレーションタンク）に入ります。この池では、汚水に活性汚泥と空気を混ぜることによって、活性汚泥中の**微生物が汚水中の汚れを食べます。このことによって、汚水がきれいになります。**



最終沈澱池



エアレーションタンクから流れてきた水は、最終沈澱池に入ります。この池では、水と一緒に流れてきた活性汚泥をゆっくりと沈める役割をします。そして、きれいになった水だけを次の池に流します。底に沈んだ汚泥は、機械で脱水され、**セメント原料や土壌改良剤として、有効利用されています。**



脱水汚泥

滅菌池



最終沈澱池から流れてきたきれいな水は、さらにきれいにするために滅菌池に入ります。この池では、次亜塩素酸ソーダを点滴することによって、水の中に残っている細菌類を殺します。この処理によって下水の処理がようやく終わり、**きれいになった水が逗子湾に放流されます。**

台所や風呂場、トイレなどから流れてきた汚水は、処理場に流入してから11時間半かけてきれいになります。大きなごみや油汚れなどが多すぎると、微生物の活動が悪くなり、これ以上の時間がかかることとなります。**ごみとして処分できるものは、排水溝に流さないようにしましょう。**

9月10日は「下水道の日」